

経営比較分析表（令和2年度決算）

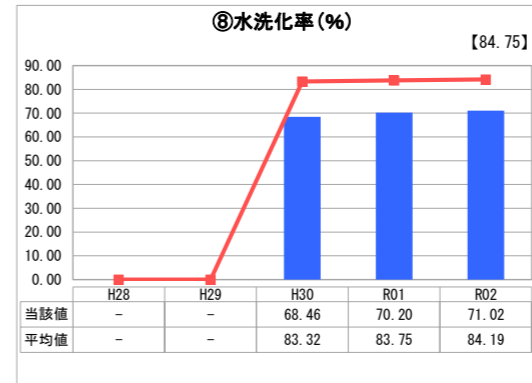
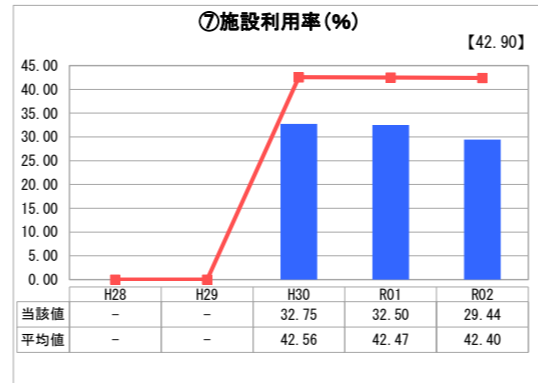
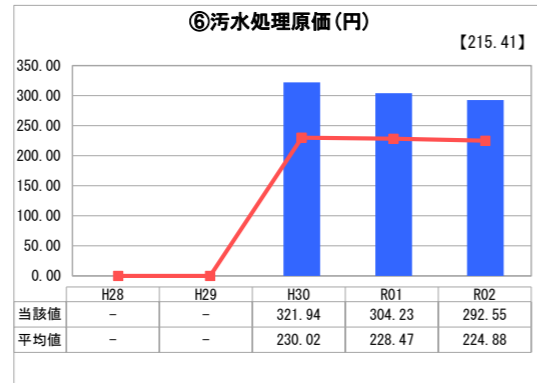
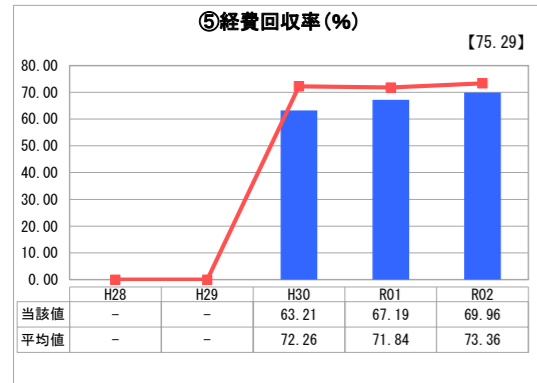
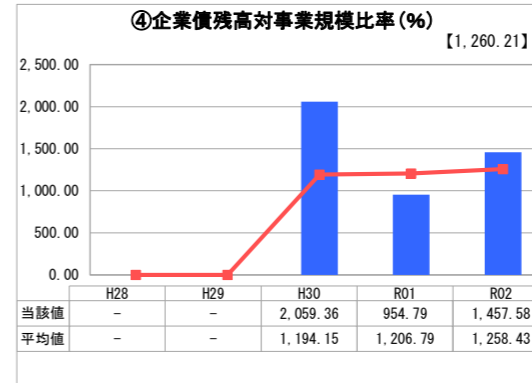
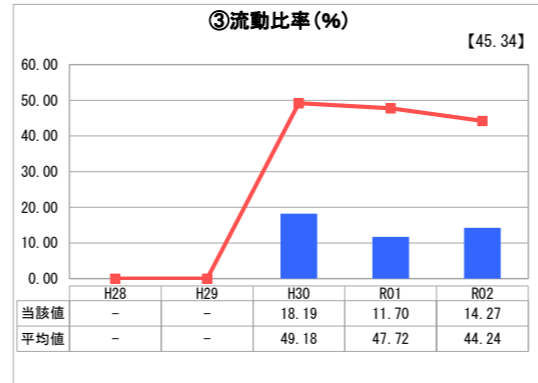
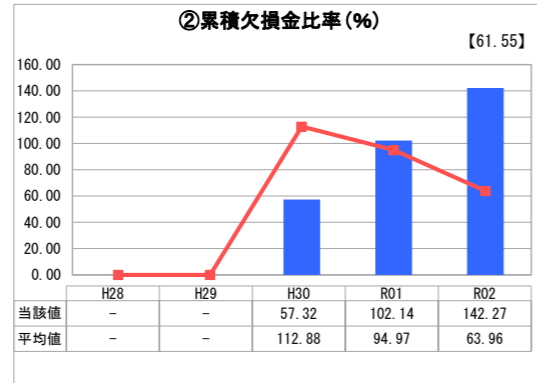
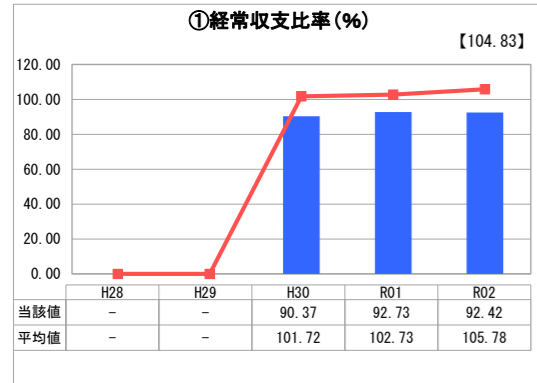
岡山県 津山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.11	2.24	104.94	3,465

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
99,821	506.33	197.15
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,229	1.08	2,063.89

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

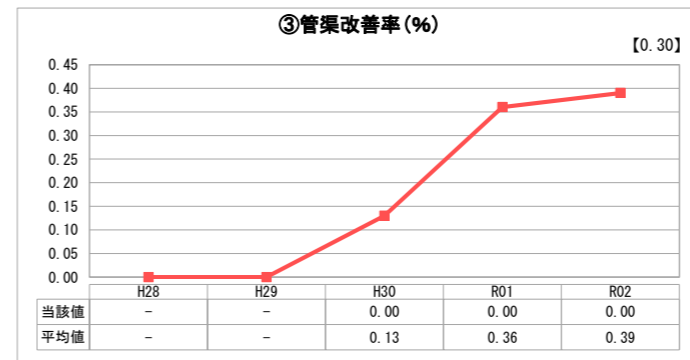
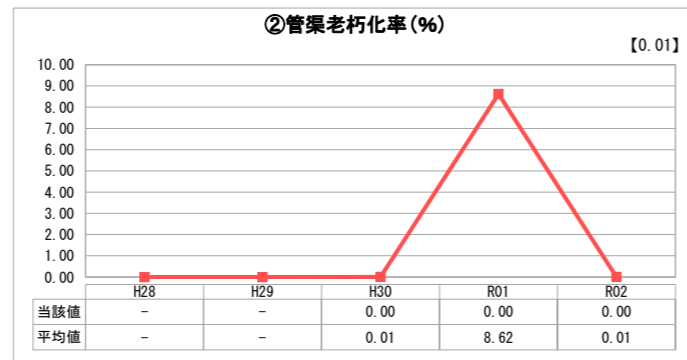
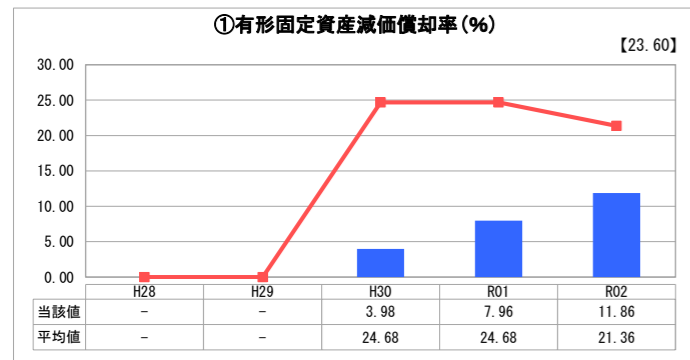
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
設備投資による減価償却費と企業債利息が大きいことから100%を下回っています。
 - ② 累積欠損金比率
①と同様の要因により、毎年同程度の欠損金が発生、累積しています。
 - ③ 流動比率
多額の企業債償還金により、基準となる100%を大きく下回っています。
 - ④ 企業債残高対事業規模比率
③と同様に、収益に対し多額の企業債残高を有しているため、高い割合となっています。
 - ⑤ 経費回収率
類似団体と比べ僅かに低くなっていますが、経営を効率化を図ることにより前年度より増加しています。
 - ⑥ 汚水処理原価
有収水量の増加と、経営の効率化による経費の減少により、前々年度以降減少傾向です。
 - ⑦ 施設利用率
30%を下回っており改善が必要です。同地域内にある農業集落排水の処理施設も更新時期を迎えていることから、広域化・共同化など合理化を図ります。
 - ⑧ 水洗化率
僅かながら続伸しています。継続して水洗化を促進します。
- ※平成30年度から公営企業会計に移行したことに伴い、平成29年度以前（法非適）の数値はこの分析表に記載されていません。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
既に稼働している資産の減価償却累計額の増加に伴い、有形固定資産減価償却率も上がっています。
- ② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率
法定耐用年数に達した管渠がないため、老朽化対策は行っていません。しかし、機械設備・電気設備には耐用年数を経過している施設もあり、平成30年12月に作成した「下水道事業ストックマネジメント基本計画」に基づき、長寿命化を含めた対策を行っています。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成30年度に公営企業会計に移行したことに伴い経営戦略を抜本的に見直しを行います。新たな経営戦略では、料金水準の見直しに先立ち、水洗化率向上へ向けた取組、維持管理費を削減する取組による経営改善について、目標を設定し、事業を継続できる財政基盤の強化を図ります。

また、特定環境保全下水道事業は、公共下水道事業に比べ、事業規模が小さいため、人口減少の影響による収入減収が経営に大きく影響します。「下水道事業ストックマネジメント基本計画」や農業集落排水施設の統合など、本市の事業全体構想を含めた効率的な施設更新に取り組みます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。